

# 常総市に影響を及ぼす地震とは

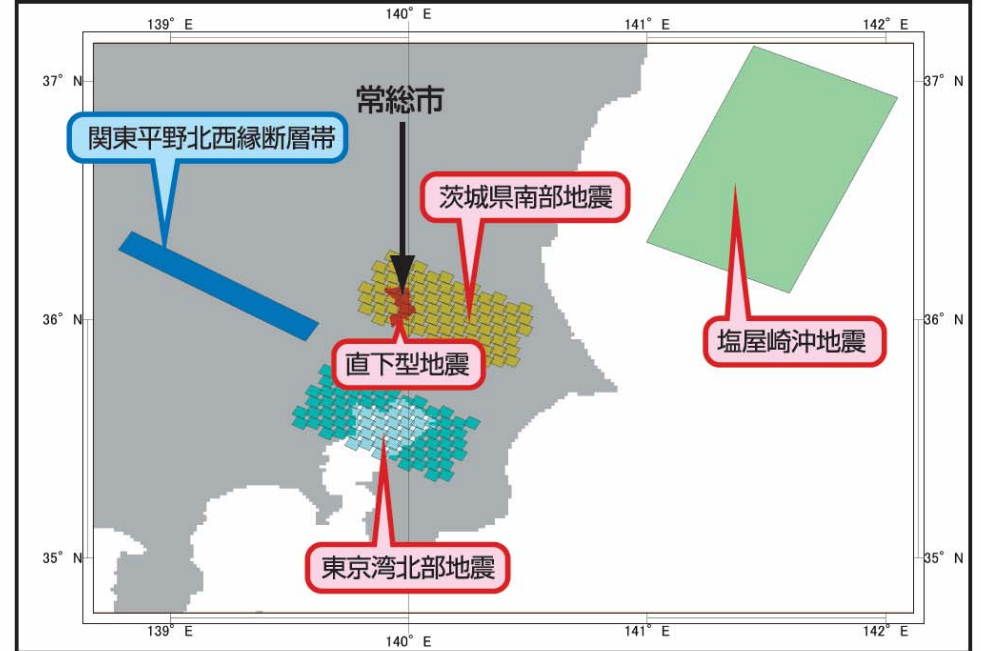
常総市域に影響を及ぼす地震として、茨城県南部地震、東京湾北部地震、塩屋崎沖地震および常総市直下の地震が考えられます。また、関東平野北西縁断層帯が活動した場合の揺れについて、防災科学技術研究所によって想定が行われており、市内で震度5強から震度6弱の揺れとなることが予想されています。

区分	想定する地震	地震の概要
海溝型地震 (プレート境界の地震)	茨城県南部地震 マグニチュード7.3	近い将来、関東地方南部のいずれかで起こる可能性の高い、プレート境界型のマグニチュード7級の地震。
	東京湾北部地震 マグニチュード7.3	
	塩屋崎沖地震 マグニチュード7.5	昭和13年11月5日に発生した地震。
全国どこでも起こりうる直下の地震(地表に現れていない断層で発生する地震)	常総市直下の地震 マグニチュード6.9	この規模の地震は、いつどこで発生するかを予測することは困難です※1。
活断層で発生するマグニチュード7以上の地震	関東平野北西縁断層帯 マグニチュード8.0程度	埼玉県から群馬県にかけて伸びる活断層が活動した場合の地震。今後30年以内に地震の発生する確率はほぼ0~0.008%※2。

※1 内陸で発生する大きな地震は、「活断層」として残り、数千年周期で繰り返しおこっています。一方、地表に現れていない「断層」が活動し、大きな被害を及ぼすことがあります。このような地震の規模はマグニチュード6規模(最大で6.9程度)までですが、全国どこでも発生する危険があります。

※2 地震調査研究推進本部は、主要な活断層について平均活動間隔(地震が起こる間隔)や最新活動時期(一番新しい地震が発生した時期)等を調査し、次の地震の発生可能性について平成19年1月1日を算定基準日として評価しています。関東平野北西縁断層帯の地震の発生確率はほぼ0~0.008%と低いため、建物の耐震改修を考えるための「揺れやすさマップ」では想定対象としていません。

想定する地震の震源域



関東平野北西縁断層帯による常総市の震度

